ありがとう。そしてこれからも。
北陸新幹線 開業1周年
1st ANNIVERSARY HOKURIKU SHINKANSEN
−2016年3月14日 北陸新幹線（金沢−長野間）開業1周年−

北陸新幹線（金沢・富山～長野駅間）開業1周年

2年目への大型キャンペーンが3月12日スタート

北陸新幹線（金沢・富山～長野駅間）は3月14日で開業1周年。首都圏からのアクセス向上や関西圏からも新幹線目当てや信越エリアへの利便性が向上し、2015年度の国内観光をリードした。北陸新幹線は開業以来、概ね前年の在来線との比較で3倍の利用者となっている。

さらに昨年10月から12月には北陸デスティネーションキャンペーン開催と新しい観光列車「花嫁のれん」が七尾線に、城端・氷見線では「ベル・モンターニュ・エ・メール」が運転を開始。開業効果は継続されている。

北陸新幹線の利用は対前年比で約3倍
北陸DCと観光列車ともに大きな成果

利用好調な北陸新幹線

北陸DCの成果

主要観光地等の状況

北陸DC期間中の北陸3県内の主要温泉地等の宿泊状況は、北陸新幹線開業効果が最も高いときれる上半期（4～9月）の状況を維持し、すべてにおいて前年を10%以上上回った。

各地の状況は宇奈月温泉（富山県黒部市）は宿泊者数10万1833人で前年比136・3%。和倉温泉（石川県七尾市）は宿泊者数25万5799人で前年比120・5%。加賀四湯（石川県加賀市・小松市）は宿泊者数57万2665人で、前年比112・3%。あわら温泉（福井県あわら市）は宿泊者数25万7千人で、前年比113・7%。

また金沢市内の主要8ホテルは宿泊者数18万4602人で前年比123%。

主要観光施設等（各県6カ所）の入込状況も同様に上半期の状況を維持し、すべてにおいて前年を上回った。

黒部峡谷鉄道（富山県黒部市）が入込数26万9003人で前年比124・2%。立山黒部アルペンルート（富山県立山町）は18万2074人で前年比109・8%。五箇山（富山県南砺市）が12万3308人で152・5%。

一乗谷朝倉氏遺跡（福井県福井市）は20万52人で125・6%。大本山永平寺（福井県永平寺町）は17万1300人で128・1%。福井県立恐竜博物館（福井県勝山市）は18万6200人で前年比154・1%。

JR関連の利用状況

北陸新幹線（上越妙高～糸魚川間）で前年比321%、特急サンダーバード（京都～敦賀間）で前年比109%といずれも前年を上回った。さらに北陸新幹線開業後の上半期（4～9月）の伸びと比較しても、北陸新幹線では13%、サンダーバードでも4%上回った。

注目の観光列車

DCに合わせて運転を開始した七尾線観光列車「花嫁のれん」、城端線・氷見線観光列車「ベル・モンターニュ・エ・メール」はほぼ満席の利用。

「花嫁のれん」は、1万2千人を越える利用で乗車率95%。

「ベル・モンターニュ・エ・メール」は、3500人を越える利用で乗車率96%と極めて好調となっている。

旅行商品、JR割引きっぷの状況

3大都市圏からの旅行商品の発売状況も特筆される。

北陸新幹線開業効果が最も高い首都圏発商品は前年比883%と驚異的な数字となった。

中京圏発も前年比120%、関西圏発は前年比110%と北陸新幹線や全国的に注目が集まった北陸商品は人気となり、大幅増となっている。

JR西日本管内での旅行商品の状況は前年比113%。JR割引きっぷ（「おとなび北陸フリーきっぷ」「福井観光きっぷ」などを新設）は前年比219%と倍増した。

またJR利用物を対象に、駅構内店舗等で特典付きの「おもてなしBOOK」のプレゼントの応募総数は約7500人となった。

北陸DC専用サイト（http://monogatari.hokuriku-imageup.org/）は8月25日～12月31日の訪問者数が6万3555人にのぼった。

信越エリアも注目

JR西日本では12月11日から16年3月31日まで、「JR Snow Resort 2015—16」キャンペーンを展開中。北陸新幹線金沢・富山～長野駅間が開業し、京阪神・北陸から近くなった信越エリアに向けてスキー場までの便利なアクセスと、雪深い信越ならではの「冬」の魅力を組み合わせた旅行を提案する。

12月25日までは大河ドラマ「真田丸」の放送で注目が集まっている真田信繁（幸村）の関西・長野エリアでゆかりの地を巡るチェックインラリーを実施している。

ゆかりの地の大阪、和歌山、長野の3コースを用意。長野コースでは、スタート・ゴール駅は上田駅（北陸新幹線）。

上田城跡公園、上田藩主居館跡、真田幸村公騎馬像、上田市立博物館、信州上田真田丸大河ドラマ館がチェックポイントとなっている。

チェックインラリーは、モバイル端末（スマートフォン）の位置情報サービスを利用して、端末でチェックイン（位置情報登録）しながらチェックポイントの観光スポットを巡るもの。

制覇したコースに応じて、抽選で真田信繁（幸村）にちなんだ素敵なプレゼントが当たる。

また、モバイル端末上で表示される現地クイズに回答すると、ご当地賞品が当たるゆかりの地賞も用意。

さらに、チェックインラリーに連動して、駅からの散策モデルコースや大河ドラマ「真田丸」の番組情報も掲載したパンフレットを制作し、JR西日本の主な駅などで配布している。

DC期間中のイベントも活況

北陸3県の祭りや伝統工芸のステージのほか、食や伝統工芸ブース等を設け、北陸の魅力が一堂に会した北陸DCオープニングイベントは10月3日と4日に金沢城公園（石川県金沢市）で開催され来場者は1万9700人。

富山県では、光のイベント「環水公園アマノガワ2015」が10月3日に開催され来場者9千人となった。

福井県では、11月21日と22日に福井県産業会館（福井県福井市）で開かれた北陸3県食の祭典は来場者2万8千人。

福井県立恐竜博物館特別展は7月10日～10月12日、来場者22万4470人。

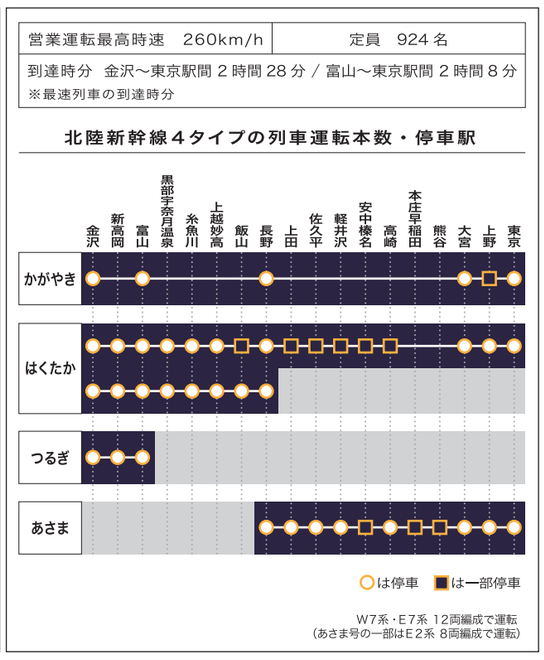
福井県の多彩な食材を使った「福井（ふくどん）カップ」は12月12日と13日で、来場者3万5千人。

福井県立美術館の大永平寺展は10月2日～11月8日、来場者1万4444人。

昨年の開業セレモニーの様子

営業運転最高時速　260km/h	定員　924名
到達時分　金沢～東京駅間２時間28分／富山～東京駅間２時間８分	
※最速列車の到達時分	

北陸新幹線４タイプの列車運転本数・停車駅



W7系・E7系 12両編成で運転
（あさま号の一部はE2系 8両編成で運転）

北陸新幹線開業1周年キャンペーンがスタート

JR東日本とJR西日本は、北陸新幹線開業1周年キャンペーンを3月12日から9月30日まで北陸と信越エリア（福井、石川、富山、新潟、長野の各県）で実施する。

北陸新幹線（金沢～長野駅間）の1周年を記念して、特別企画や北陸、信越の魅力を提案するキャンペーン。

キャンペーン期間中には、北陸と信越エリアの9駅（福井駅、金沢駅、新高岡駅、富山駅、黒部宇奈月温泉駅、糸魚川駅、上越妙高駅、飯山駅、長野駅）に特別スタンプを設置して「北陸新幹線開業1周年記念ラリー」も実施。

首都圏と関西圏の主な旅行会社で北陸と信越の5県（福井、石川、富山、新潟、長野の各県）を着地とする「北陸新幹線開業1周年」記念の専用旅行商品が発売される。

またアフター北陸DCキャンペーンも予定されている。

信越エリアも注目

JR西日本では12月11日から16年3月31日まで、「JR Snow Resort 2015—16」キャンペーンを展開中。北陸新幹線金沢・富山～長野駅間が開業し、京阪神・北陸から近くなった信越エリアに向けてスキー場までの便利なアクセスと、雪深い信越ならではの「冬」の魅力を組み合わせた旅行を提案する。

12月25日までは大河ドラマ「真田丸」の放送で注目が集まっている真田信繁（幸村）の関西・長野エリアでゆかりの地を巡るチェックインラリーを実施している。

ゆかりの地の大阪、和歌山、長野の3コースを用意。長野コースでは、スタート・ゴール駅は上田駅（北陸新幹線）。

上田城跡公園、上田藩主居館跡、真田幸村公騎馬像、上田市立博物館、信州上田真田丸大河ドラマ館がチェックポイントとなっている。

チェックインラリーは、モバイル端末（スマートフォン）の位置情報サービスを利用して、端末でチェックイン（位置情報登録）しながらチェックポイントの観光スポットを巡るもの。

制覇したコースに応じて、抽選で真田信繁（幸村）にちなんだ素敵なプレゼントが当たる。

また、モバイル端末上で表示される現地クイズに回答すると、ご当地賞品が当たるゆかりの地賞も用意。

さらに、チェックインラリーに連動して、駅からの散策モデルコースや大河ドラマ「真田丸」の番組情報も掲載したパンフレットを制作し、JR西日本の主な駅などで配布している。

北陸新幹線の魅力

北陸新幹線は、開業時に投入された新型車両W7系（JR西日本）とE7系（JR東日本）が注目を集め観光の目玉となった。アクティブサスペンション（動揺防止制御装置）を搭載し、より乗り心地の良い車両とするほか、バリアフリー設備の充実や全ての座席への電源コンセント設置、車内の全ての洋式トイレに温水洗浄機能付便座を設置するなど快適な新幹線だ。関西圏をはじめ、全国から新しい新幹線への乗車や見学に訪れた。北陸新幹線は、東海道・山陽新幹線の「のぞみ」の設定とは異なり、ジャパンレールパスが利用できるため、外国人観光客にも利用しやすくなっているほか、JR西日本の訪日外国人客向けの特別企画乗車券の対象にもなっている。

グランクラスと専任アテンダント

グランクラスの軽食セット

グリーン車

普通車

グランクラスの魅力

北陸新幹線の座席シート（W7系・E7系）は、普通車、グリーン車とグランクラスの3タイプ。普通車の指定席と自由席は同じタイプ。プレミアムブランドであり新幹線のファーストクラスと位置付けされている「グランクラス」も観光利用で人気を集めた。

グランクラスは、インテリアデザインに伝統を感じる空間と先進の機能を持つ本革シートの相乗効果で、居心地の良い、ゆとりある空間を感じられる演出を施した。航空機のキャビンアテンダントにあたる「専任アテンダント」が常駐。アテンダントコールで、乗客一人ひとりの要望に対応する。車内サービスでは、沿線の地域特性を活用したオリジナルサービスを提供。軽食サービスとして、沿線各地の食材などを用い、季節感を演出した和軽食と洋軽食を用意。ドリンクサービスでは、アルコールドリンクや、ノンアルコールドリンクを提供。ワイン、日本酒、スパークリングアルコールなどは、北陸新幹線沿線ゆかりのものが用意される。沿線ゆかりの素材を取り入れた茶菓子（停車タイプ）1往復。富山～金沢駅間運転列車（シャトルタイプ）の「つるぎ」が18往復。東京～長野駅間運転列車（現長野新幹線タイプ）「あさま」は16往復となる。3月のダイヤ改正では、北陸新幹線「はくたか」の一部列車の所要時間を短縮。また、東京駅の発車時刻を統一することで利用者にわかりやすいダイヤにする。

関連して、大阪～金沢間の特急「サンダーバード」を1往復増発し、関西地区から北陸、信州方面への滞在時間拡大やアクセス向上を図る。大阪発は早朝に、金沢発は夕方に増発される。金沢駅では北陸新幹線「はくたか」と接続し、信州方面への観光が便利になる。さらに、金沢発大阪行き最終「サンダーバード」の時刻を12分繰り下げることで、滞在時間を拡大する。

高山本線の特急「ひだ」と北陸新幹線の接続も改善。首都圏や信州方面から北陸新幹線を経由し、午前中に高山方面に到着できるよう、ダイヤを見直す。

主な区間の料金

主な区間の料金は、大人の普通車指定席の通常期で東京～金沢駅間は1万4120円。東京～富山駅間は1万2730円。長野～金沢駅間は8960円、金沢～富山駅間は3330円。グリーン車は、東京～金沢駅間が1万8750円、東京～富山駅間が1万7360円。グランクラスは、「専任アテンダント」による車内サービスがあるものが、東京～金沢駅間が2万6970円、東京～富山駅間が2万5580円。料金面で見ると、実際の飛行機のファーストクラスや高級タイプの観光列車と比べてみても、グランクラスは観光利用で考えるとコストパフォーマンスが高いことがわかる。

また、JR西日本では、同社インターネット予約サービス「e5489」を北陸新幹線に導入。eきっぷやWEB早特1、e早特1などの割引や、シートマップによる座席指定も可能となる。JR東日本のインターネット予約サービス「えきねっと」との相互受取りも行え便利になっている。

北陸・信越への所要時間短縮

速達タイプの「かがやき」が1日10往復運転。東京～金沢駅間を最速2時間28分で走る。停車タイプの「はくたか」は東京～金沢駅間を14往復と、「つるぎ」が18往復。東京～長野駅間運転列車（現長野新幹線タイプ）「あさま」は16往復となる。3月のダイヤ改正では、北陸新幹線「はくたか」の一部列車の所要時間を短縮。また、東京駅の発車時刻を統一することで利用者にわかりやすいダイヤにする。

関連して、大阪～金沢間の特急「サンダーバード」を1往復増発し、関西地区から北陸、信州方面への滞在時間拡大やアクセス向上を図る。大阪発は早朝に、金沢発は夕方に増発される。金沢駅では北陸新幹線「はくたか」と接続し、信州方面への観光が便利になる。さらに、金沢発大阪行き最終「サンダーバード」の時刻を12分繰り下げることで、滞在時間を拡大する。

高山本線の特急「ひだ」と北陸新幹線の接続も改善。首都圏や信州方面から北陸新幹線を経由し、午前中に高山方面に到着できるよう、ダイヤを見直す。

主な区間の料金

主な区間の料金は、大人の普通車指定席の通常期で東京～金沢駅間は1万4120円。東京～富山駅間は1万2730円。長野～金沢駅間は8960円、金沢～富山駅間は3330円。グリーン車は、東京～金沢駅間が1万8750円、東京～富山駅間が1万7360円。グランクラスは、「専任アテンダント」による車内サービスがあるものが、東京～金沢駅間が2万6970円、東京～富山駅間が2万5580円。料金面で見ると、実際の飛行機のファーストクラスや高級タイプの観光列車と比べてみても、グランクラスは観光利用で考えるとコストパフォーマンスが高いことがわかる。

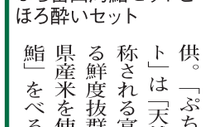
また、JR西日本では、同社インターネット予約サービス「e5489」を北陸新幹線に導入。eきっぷやWEB早特1、e早特1などの割引や、シートマップによる座席指定も可能となる。JR東日本のインターネット予約サービス「えきねっと」との相互受取りも行え便利になっている。

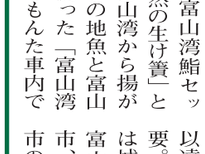
観光列車「ベル・モンターニュ・エ・メール」（べるもんた）

富山県では、観光列車「ベル・モンターニュ・エ・メール」（愛称：べるもんた）が昨年10月10日から城端線・氷見線を土曜日が新高岡駅～氷見駅間、日曜日は高岡駅～城端駅間（4号は氷見駅～高岡駅間）で1日2往復で運転開始。高岡を起点に山側の城端線と海側の氷見線の「美しい山と海」を楽しめ、コンパクトながら、見どころやサービスが凝縮された観光列車となっている。コンセプトは「走るギャラリー」。車内では地元の食材を利用した富山ならではの魅力ある食事メニューや沿線ガイドなどのサービスを提供する。

1から3号は城端線と氷見線を直通運転するため、高岡駅構内で城端線ホームと氷見線ホームとの間で入換しながら移動する。この構内移動を新高岡駅と氷見線内停車駅の相互間の乗車券類を持つ乗客は乗車したままが可能で、珍しい構内移動を体験できる。また構内移動については車内での解説のアナウンスがある。国定公園の雨晴海岸付近では速度を落とし停車。美しい海岸線や冬季は雪景色も見られる。天気の良い日には、立山連峰と海岸線の両方が見える絶景が楽しめる。車内では、食のサービスとして「ぷち富山湾鮨セット」と「ほろ酔いセット」を提供。「ぷち富山湾鮨セット」は「天然の生け簀」と称される富山湾から揚がる鮮度抜群の地魚と富山県産米を使った「富山湾鮨」をべるもんた車内で鮨職人が握り提供する。内容は、鮨5貫と氷見はとむぎ茶のセット。好評のため1月から全列車で提供となった。価格は2千円。発売方法はVISIT富山県（着地型ツアーサイト）での予約販売で、利用の3日前までの予約が必要。車内でも数量限定で発売される。購入には「べるもんた」の乗車に必要な乗車券と座席指定券が必要。食事の提供時間の関係上、新高岡・高岡～氷見駅または高岡・新高岡～砺波駅以遠の駅までの乗車が必要。「ほろ酔いセット」は城端線・氷見線沿線の富山県の高岡市、氷見市、砺波市、南砺市の4市のおつまみ（4種類）と沿線の酒のセット。地酒は4種類から1種類を選ぶ。「べるもんた」の全ての列車で提供される。価格は1500円。販売方法は車内で希望者に販売（数量限定）。4月からは「飲み比べセット」（1500円）も発売予定。

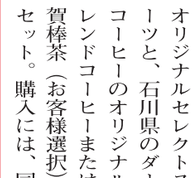
「べるもんた」は、快速列車（全車指定席）として運転。乗車券に加え、座席指定券（520円）が必要となる。


べるもんた外観


ぷち富山湾鮨セットとほろ酔いセット

花嫁のれん外観

1号車内


2号車内

観光列車「花嫁のれん」

観光列車「花嫁のれん」は石川県内を走る七尾線（金沢駅～和倉温泉駅）に昨年10月3日から運転を開始。

車両のコンセプトは「和と美のおもてなし」。外装と内装とも輪島塗りや加賀友禅、金沢金箔など北陸の伝統工芸をイメージし、「和と美」を表現した。

乗客は女性客が多いほか、熱心な鉄道ファンも見かける。記念撮影や車内の装飾、アテンダントとの交流など終点まで、サービスを満喫できる。軽食やスイーツセットも利用者が多い。車窓は、世界農業遺産に登録されている田園風景が中心だが冬季は北陸らしい雪景色が見られる。1号車は8つの半個室と物販スペースがあり、通路は日本庭園の飛び石をイメージした絨毯（じゅうたん）を敷いた。

2号車は催し物を実施できるスペースを用意し、にぎやかに旅を楽しめる空間とした。車内サービスと食のサービスには、和倉温泉の人気旅館の加賀屋が協力。車内の和装アテンダントとして、加賀屋の客室係1人、事前に加賀屋で研修を受けたJRグループ会社のスタッフ2人が乗務し、食事の提供やカウンターでの土産物販売などを行う。食のサービスは、加賀屋総料理長監修で、和倉温泉駅発の同列車に「和軽食セット」（花嫁のれん2号）、「ほろよいセット」（花嫁のれん4号）を設定。「スイーツセット」を金沢駅発となる花嫁のれん1号と3号で設定。「スイーツセット」は世界的に活躍するパティシエ辻口博啓氏のオリジナルセレクトスイーツと、石川県のダートコーヒーのオリジナルブレンドコーヒーまたは加賀棒茶（お客様選択）がセット。購入には、同列車の金沢～七尾駅間または金沢～和倉温泉駅間の乗車券と特急券が必要。春夏の運転日は9月30日までの土曜日、休日。4月から9月の金曜日および指定日（3月19日から4月10日、水曜日・木曜日除く）、4月29日から5月8日、7月22日から8月30日、水曜日・木曜日除く）。特急列車普通車指定席（全車指定席）として運転。運賃・料金については七尾線を運転する他の特急列車と同様の取り扱いとなる。乗車日の1カ月前の10時から全国のJRのみどりの窓口および主な旅行会社で発売する。

キャンペーンの詳しい内容、問い合わせ先は
JRおすすめの旅　検索　へどうぞ。
http://www.jr-odekake.net/